

## 高等学校「英語表現」の授業に求めたい活動

中井 弘一

— Key Points in Activities Needed for “English Expression” at Senior High School —

### 抄録

今年度から高等学校で導入された教科「英語表現Ⅰ」は学校現場の先生が想定されていた授業内容のイメージと同じものなのであろうか。学習指導要領には「基本的な言語規則に基づいて、様々な場面に応じて適切に話すことや書くことができるようにし、あわせて論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとして内容を構成する」と「英語表現Ⅰ」の目標を明示しているが、使用されている教科書の多くは文法シラバスに基づいている。「英語表現Ⅰ」には表現するおもしろさと喜びを伝える自由な自己表現は要らないのだろうか。本稿では「英語表現」に求めたい表現活動について考察する。

Key-word:

発音・音読による英語表現 日英感覚の違いによる表現 英語表現の楽しみ 英語表現の味わい 創作英語表現活動

### 1. はじめに

高等学校英語科目の「英語表現Ⅰ」に関する学習指導要領の改善の具体的事項には、「基本的な言語規則に基づいて、様々な場面に応じて適切に話すことや書くことができるようにし、あわせて論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとして内容を構成する」とあり、科目の目標・内容は、

#### 目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

#### 内容

(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。

ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。

イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

(2) (1) に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。

ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと

イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。

ウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。

エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。

とある。論理の展開や表現方法の工夫とあるが、表現するおもしろさと喜びを伝える自由な創作表現についても言及されていない。これらの要素は要らないものであろうか。またここには、「文法」という言葉はどこにも使われていない。しかし現実には、実際に使用されている教科書は文法シラバスを基にしているものが多い。これでは、便宜上「表現」という言葉(用語)を使っているだけで、教科名と実際の学習内容のずれに留まらず、学習指導要領の内容とのずれもあるように思われる。これらのことを踏まえ、本稿では「英語表現」に求めたい表現活動のあり方やどのような活動例が加えられるべきかを提案する。

### 2. 表現とは何か

表現とは、伝えたいものがあることで、中でも「自らの気持ちや考えを様々な媒体で表すこと」が表現の基本的な活動であると考えている。伝えたいものには、「知的なもの(考え・情報など)」や「情緒的なもの(気持ちや思い)」がある。そしてそれらは媒体として身体や声、言葉(文字・記号)、絵やビデオ、具体的な実物の組み合わせなどで伝達される。学校教育において、表現活動を通して育成したい考える目標には、

- ・心豊かな人間育成の基本として主体的・能動的に関わる力の育成

- ・自分なりの考え方の育成
- ・表現媒体を使いこなす技能の育成
- ・自覚化を促す

などが考えられる。これらを目標として表現力を育成する指導のポイントとして考えられる項目は、

- ・思いを込め、脹らませる
- ・表現をする中で何かを発見させる
- ・体験的な活動と結びつけさせる
- ・表現において個性を発見させる
- ・表現に対し共感する、また交流する他の人の存在の重要性に気づかせる
- ・表現技能を練習させる

ではないだろうか。こうした要素が現行の教科書に組み入れられているだろうか。

### 3. 現行「英語表現 I」概観

#### 3.1 現職英語科教員の「英語表現 I」教科書の印象と期待する内容

筆者は教員免許状更新講習などで現職高校教員に「英語表現 I」の教科書について、その印象と期待する内容についてのアンケートを行った。関西一円の高等学校英語科教員 48 名から回答を得た。その結果は以下のとおりである。

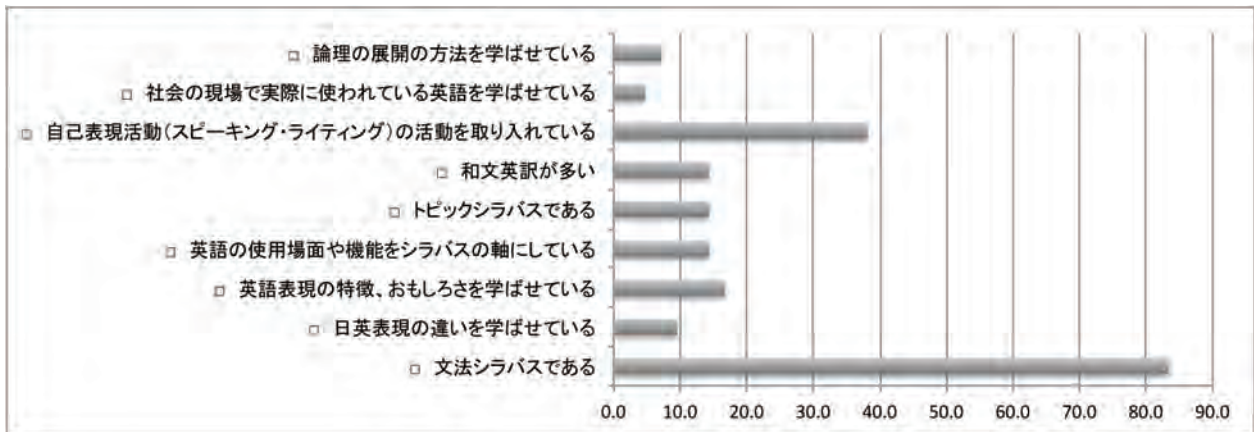


図1 採用されている「英語表現 I」の教科書は、次のどれにあてはまりますか。(複数選択可) 回答：42 名、単位：%

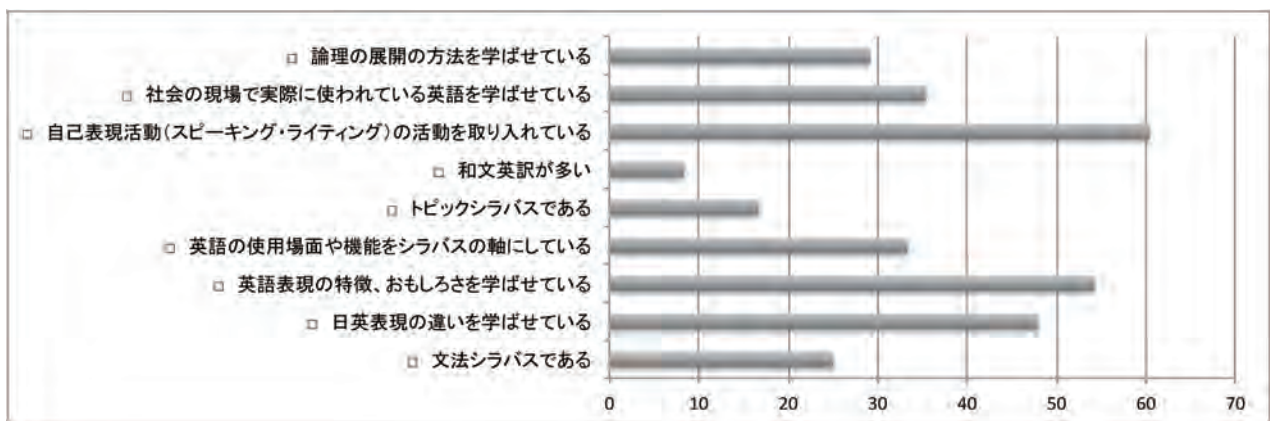


図2 「英語表現 I」の授業で期待する内容・構成は次のどれがあてはまりますか。(複数選択可) 回答：48 名、単位：%

図1から、採用されている英語表現 I の構成は「文法シラバスである」と認識している教員が 83.3%と多いことがわかる。「自己表現活動を取り入れている」という印象は 40%に満たない。これに対して、図2の「英語表現 I」の教科書に期待する内容からみると、「自己表現活動」が 60.4%、「英語表現の特徴、おもしろさを学ばせる」が 54.2%、「日英表現の違いを学ばせる」が 47.9%と「英語表現 I」の教科書に求める現職英語科教員の思いは実際の教科書とはかなりのギャップがある。

#### 3.2 「英語表現 I」教科書の実際

「英語表現 I」の教書採択率を東京都の例で示すと、図1のようになり、啓林館の“Vision Quest English Expression I”がほぼ半数を占めている。他府県においても、この教科書の採択率は非常に高い。それほど採択される教科書にはどのような特長があるのか概観し、他の教科書の活動例をリストアップする。

a. “Vision Quest English Expression I” Standard 啓林館

当該出版社のHPの本教科書紹介には、大きくその特長として「文法力と表現力をつける教科書」とうたっている。「【文法力を育成】として、本課 12 課が文法を中心軸として構成されている。各課とも、「文法を含むモデル会話 → 文法解説のページ → Exercises → 文法を使った発信活動」という流れになっている。【表現力を育成】として学んだ文法や表現を使って、文を書いたり話したりする活動を多く入れている。英作文の練習にもティーム・ティーチングの素材としても活用できる」と解説している。実際の教科書の 1 レッスン構成は、

- Model Conversation, Listening Task, Pronunciation : 1 ページ
- Grammar : 1~2ページ
- Grammar based Exercise : 1~2ページ
- Expressing:1 ページ

と、文法の解説やその練習問題に多くのページが割かれている。

Exercise の問題形式は、

- My brother ( ) movies very much. [like] を適当な形に
- He ( ) to the library last Friday. [go] を適当な形に
- 今、弟は自分の部屋で勉強しています。  
My brother \_\_\_\_\_ in his room now. [study]
- 彼女は毎日、バスで通学している。  
(to / by / go / school / bus / by) every day.

b. “Crown English Expression I” 三省堂

『三省堂高校英語教育』2013 年夏号に特集として「新教科書2-これからの英語教育」が生まれ、その中の「『Crown English Expression I・II』の編集にあたって」に著者の編集方針が述べられている。

「役に立たない英語」-英語教材の宣伝が学校英語を批判する際によく使う表現です。さらに、「英語学習には文法は不要」というメッセージとともに、学校英語を切り捨てます。

この宣伝文句を指示する人は多いかもしれません。しかし、(略)。私たちが出発点としたのは、「文法は自己表現の地下水脈である」という考え方でした。「文法表現を礎として、英語による表現活動に取り組んでほしい」という願いを込めて、『英語表現 I』と『英語表現 II』の編集に当たった次第です。

と文法学習を編集の基本としている。レッスンの構成はトピック別ではあるが、

- Listening, G-file, Expressions : 1 ページ
- Ex-file(文法・作文) : 1ページ

を基本とし、Speaking というページを 2~3 レッソンの間に挟み、3 パラグラフ程度の英文を読んだ上で、その内容を踏まえた output への穴埋め作文などを設けている。

- 発表に必要な表現
- つなぎ表現
- sounds(発音・リズム学習)
- try (同内容を別の内容で紹介したりする表現活動)

同時に、Grammar Profile を 2 ページにわたって問題練習をさせる構成としている。

Exercise の問題形式は、

- 彼が今、柔道をしているはずがない。手首を骨折しているのだから。  
He ( ) be practicing judo now. He has a broken wrist.
- 大会は予定どおりに実施されています。ご心配には及びません。  
The tournament is on schedule. You (have / don't / worry / to) about it.
- 放課後、運動場 (playground) を使ってよろしいですか。

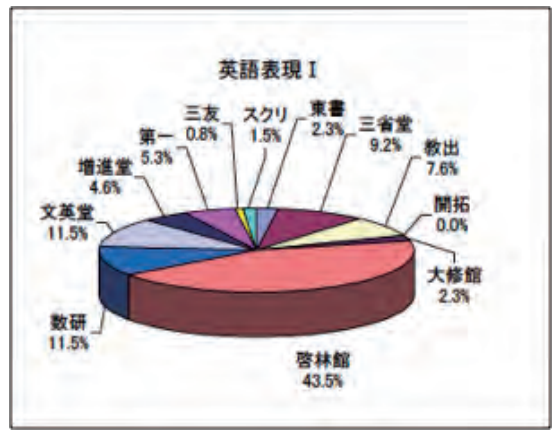


図3 東京都「英語表現 I」教科書採択率

**B 現在進行形**

4. She is playing tennis now. (彼女は今、テニスをしている。)

現在進行形 (am / are / is + doing) 今行われている動作

注意: 動作動詞を用いる。状態動詞は原則として進行形にはならない。  
 I belong to the drama club. (私は演劇部に所属している。)  
 I am belonging to the drama club.

**C 過去形**

5. I loved him. (私は彼を愛していた。)

過去の状態・状態動詞を用いる。

6. He played baseball last week. (彼は先週、野球をした。)

過去の1回の動作・出来事: 動作動詞を用いる。

7. He usually played soccer after school. (彼はたいてい放課後にサッカーをした。)

過去の習慣的・反復的動作: 動作動詞を用いる。

注意: 一般動詞の過去形には、規則変化のもの和不規則変化のものがある。⇒ p.116 付表4, pp.117~119 付表6

資料1 “Vision Quest English Expression I” Standard 啓林館

“I’m sure I can get better if I don’t give up,” says Kunieda Shingo, Japan’s first professional wheelchair tennis player and the Beijing Paralympics gold medalist. He began to play wheelchair tennis at the age of eleven. He left home at five every morning and practiced for five hours, and finally made it to the top.

**G-file 助動詞**

1 can: ~することができる(可能)  
Kunieda Shingo can hit a very fast service.  
康徳選手はとても速いサーブを打つことができる。

2 may: ~してもよい(許可)  
Volleyball players may wear glasses or contact lenses at their own risk.  
バレーボール選手は自己責任で眼鏡またはコンタクトレンズを装着してもかまわない。

3 must: ~しなければならない(義務)  
A soccer field must be rectangular. サッカーグラウンドは長方形でなければならない。  
空所に漢字を入れなさい。空に意味を添えて確認しなさい。

1. Runners ( ) try to steal a base while the pitcher is throwing.  
(走者は投手が投球する間に盗塁しようと試みてかまわない)

2. A sumo wrestler ( ) not grab his opponent’s hair.  
(力士は相撲相手の髪をつかんでほならない)

**Expressions**

1 Can you tell me when the final will start?  
2 You may be surprised to hear that our school won the competition.  
3 He must be very tired after finishing the triathlon.  
4 You don’t have to practice so hard just before the National Tournament.  
5 We would often drink a cold soda after the game.

① 決勝戦がいつ始まるのか教えてもらえますか。  
② 私たちの学校がその試合に勝ったと聞いた時は驚かされました。  
③ 彼はトライアスロンを完了して、たいへん疲れているに違いありません。  
④ 全国大会の直前に、そんなに猛練習する必要はないよ。  
⑤ 試合後には冷たい清涼飲料水をよく飲んだものだ。

資料2 “Crown English Expression I” 三省堂

\_\_\_\_\_ after school?

- a) Mr. Yamada teaches us chemistry.
  - b) Chemistry is ( ) ( ) us by Mr. Yamada.
- ・母はもう1時間近く電話で話している。(on the phone を使って)

c. “Unicorn English Expression I” 文英堂

教科書の編集方針 ([http://www.bun-eido.co.jp/t\\_english/textbook/unicorn/ue2.pdf](http://www.bun-eido.co.jp/t_english/textbook/unicorn/ue2.pdf)) は、

- ・身近なトピックで実践的に英文を書く力を養う

高校生の日常生活に密着した様々なトピックについて、5～6文書けることを目標に「書く」活動を中心に設計しています

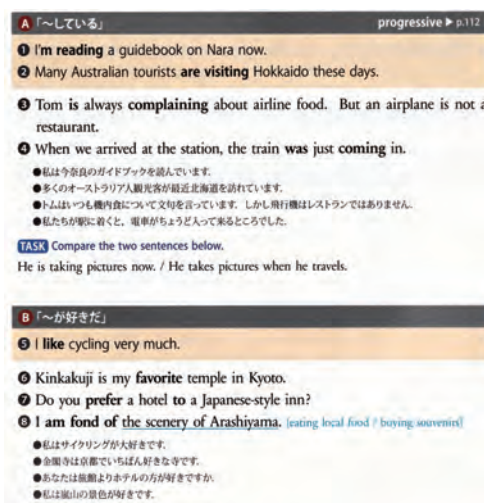
- ・文法と表現の積み重ねで英語表現力をアップ

文法や機能表現を柱とし、文を豊かにするための表現力を身につけます

- ・大学入試の和文英訳、自由英作文に向けての土台作り

大学入試で和文英訳、自由英作文問題に抵抗なく取り組めるように、早い段階から「書く」ことに慣れさせるとともに、自己表現力を高めます

とある。



資料3 “Unicorn English Expression” 文英堂

レッスンの構成は、

- ・ Building Blocks (文法表現・機能表現をまとめた例文集) 1 ページ
- ・ Exercises (文法・機能表現の練習問題) 1 ページ
- ・ A Step Forward(文法事項発展例文集、文法対話、対話まとめ直し) 1 ページ
- ・ Express Yourself (学習した文法・表現の和文英訳、英文完成問題、自由英作文) 1 ページ
- ・ Building up (レキシカル・グラマー解説) 2 ページ 8 箇所

Exercise の問題形式は、

- ・ The new movie (start) this Friday. <use “be going to do” >
- ・ “You are wasting your spare time playing computer games!”  
“I know. I (not, play) computer games for more than one hour a day.”
- ・ I learn a lot from the Internet. I ( another / believe / is /learning / leisure activity).
- ・ Jane: Can you repair my bicycle sometime today?  
Ken: OK. Repairing things is one of my hobbies. ①昼食後にやるよ。
- ・ I like to spend my free time (好きなことをして) . I (好きなことをする) (頻度) . I like (好きなこと) because \_\_\_\_\_.

d. 他教科書の Exercise の問題形式

“Polestar English Expression I” (数研出版)

- ・ In Japan, the school year (starts / is starting) in April.
- ・ a. Water \_\_\_\_\_ at 100 degrees Celsius. [boil]
- ・ b. Watch out! The kettle \_\_\_\_\_ . [boil]

- Kevin ( good at / small children / with / is playing).
- Paul: Hi, Aoi! What' s the matter ( ①とても悲しそうに見えるよ ).  
Aoi: I try to do my best, but ( ②いつも失敗ばかりしている ) .
- On my birthday, my parents will (     ) me a new computer game.

#### “Perspective English Expression I” (第一学習社)

- David \_\_\_\_\_ his sister his new bicycle yesterday.
- The principal (an / interesting / told / us) story at the morning assembly.
- そのニュースは、演劇部のみんなを幸せにした。  
The news \_\_\_\_\_ of the drama club happy.
- A: Can I borrow an eraser?  
B: Sure. (are / by / the way, / what / you) writing now?

#### “Departure English Expression I” (大修館)

- 私は月に一度友達と老人ホームを訪問する。  
I (a senior citizens' home / friends / my / visit / with) once a month.
- 桜の時期に多くの観光客が私たちの町を訪ねる。  
Many tourists (     )(     )(     ) during the cherry blossom season.
- 「夏に正月を迎えるオーストラリアで、Fielder 先生の故郷の人がどのようなすごすのか聞きたい」という場面で、あなたはどのように英語で表現するか。

#### “One World English Expression I” (教育出版)

- Can you (f     ) this report by tomorrow morning?  
明日の朝までに、このレポートを仕上げてもらえますか。
- お願いがあるのですが。  
Can (a / do / favor / me / you)?

#### “New Favorite English Expression I” (東京書籍)

- This picture (remembers / reminds) me of my grandfather.
- 最近の調査によると、日本の子どもたちの体力は年々交代しているということがわかります。  
(a / Japanese children / of / recent study / shows / that / the physical strength) is declining year by year.
- 医療技術の進歩が日本社会の高齢化をもたらしました。(英語で表現)
- a. No matter how carefully you drive, you could get involved in an accident.  
b. (     )(     ) you drive, you could get involved in an accident.
- あなたがほしいものは何でも買ってあげます。  
I'll but you (     ) you (     ).

である。学習指導要領に見る「論理的な表現」に関しても「英語表現 I」には突出した表現活動は見られないようである。高等学校の学習指導要領は「英語の授業は原則英語で」と求めている。それゆえ、英語授業における表現活動は教員が行うものでなく生徒が行うものなので、生徒の豊かな言語活動が「英語表現活動」の生命線になると思われる。しかしながら、ここに見る教科書の練習活動を見る限り、「並べ替え」、「和文英訳に準じる問題」など多くは、正解を求める文法理解トレーニング型の問題である。仕組まれた表現活動である。これでは生徒は常に正解を求めるようになるのではないか。確かに定着が定かでない状態では言語活動をいきなり行うことは無理であろうが、このような活動では正解が得られないアウトプット型のトレーニングを避けるようになり、結果として英語力が伸び悩むことにつながるのではないか。「やらせ」の表現活動に終始すると、本来育成すべき表現意欲が削がれるのではないか。表現する行為そのものを楽しむ、生き生きとした表現活動を行ってこそ、英語に興味関心を持ち、英語による表現活動に積極的の取り組むようになると考える。

#### 4. 生き生きとした英語表現活動を求めて

生き生きとした英語表現活動を生み出すのにまず必要なことは、学習者の個性を引き出す「創造性ある教材」、学習者の未知の事項を扱う「好奇心を旺盛にする教材」、温かい人間関係を築く「感情的にいい気分させる教材」など人間中心の教育に比重を置いた教材を用いることであろう。そのうえで、表現のおもしろさに焦点を当て「発音・音読による英語表現を楽しむ」「日英感覚の違いから起こる英語表現の味わいを楽しむ」「創作英語表現活動を楽しむ」、こうした楽しむという要素が不可欠ではないかと考える。暗記を求めるインプット学習には、表現意欲や表現への好奇心は生まれにくい。

田中武夫・田中知聡(2003)は、「言語活動への取組度チェックリスト」して以下の項目を挙げている。

- 英語で表現したいと思わせる場面設定をしている
- 生徒の身のまわりにありそうな場面設定をしている
- 生徒に具体的にイメージさせるための工夫がある
- 生徒のもつ背景知識をうまく利用している
- 教師が活動に入る前に率先して具体例を示している
- 活動内容を生徒の身近なものに関連付けている
- 生徒の感情・考え・意見を積極的に活用している
- 生徒に考えさせる時間を与えている
- 生徒に活動内容を主体的に選択させている

そして、二つの example の形式を比較して、Example1 の形式より Example2 の表現活動のほうが創造性に富む活動としての一例を提案している。

#### Example1

(1) 次の日本語を英語に直しなさい。

「夕食後に数学を勉強しなければならない。」

I have to \_\_\_\_\_.

(2) 文頭の英語に続くように、好きなように英文を作りなさい。

I have to \_\_\_\_\_.

#### Example 2

(1) あなたはデートをしています。時計を見ると、もう午後7時です! さあ、あなたは相手にどのように、「家に帰らないといけない」ことを伝えますか?

(2) あなたはデートに誘われましたが気が進みません。相手をはっきりさせないように断るには何と言いますか。文頭に続けて自由に英語で書きなさい。

I'm very sorry. But I can't go out with you because I have to \_\_\_\_\_.

自分の好奇心から出発する表現活動のほうがより実際のコミュニケーション活動に近い。自分が表現したい内容を英語で表現できることこそ、表現意欲へのエネルギーであり、この目的・目標を達成するアウトプット活動が学びたいと思う起動力を生み出すであろう。

#### 4.1 発音・音読による英語表現を楽しむ活動例

まず、言語は音声から始まっている。「英語表現 I」の教科書には、発音やリズムの指導の説明を掲載しているものもあるが、多くはその発音方法や強弱の位置を示したりすることに留まる知識のインプットである。発音や強弱を付けた音読そのものの大切さやおもしろさを伝えるものではない。英語には、Voice inflection として Stressing, Stretching, Pausing がある。これだけでも、文字情報は異なって相手に伝わる。

“You are very bad.” --- ①お母さんが子どもを叱る、②待ち合わせの約束時間に遅れてきた彼、彼女に一声言うなどの状況は音声表現でこそ伝わる表現の違いである。以下のような短い会話文でも、Bの音声表現によっては様々な意図を表現することになる。

1. A: Can I help you?

B: No, I don't need help.

2. A: Is this your car?

B: Why do you ask?

Oral Interpretation の練習などによく用いられる以下の活動も音読表現の楽しみでもある。

"Water." (When you want to ask a waiter to serve some water.)

"Water." (When you are thirsty.)

"Water." (When you find a pool of water on the street.)

"Water." (When you are on a hike in the forest, you find a spring.)

"Water." (You find an oasis after wandering around the desert for a week.)

"Water." (You find a big sea.)

アナウンスとして、

1. TELEVISION

"Good evening, I'm Gloria Shaw. Today in Washington the President met with Nelson Mandela to discuss the upcoming elections in South Africa."

## 2. ANSWERING MACHINE

"Hi you've reached 363-3854. We can't come to the phone now, but if you leave your name and number, we'll get back to you as soon as possible. Thank you, good-bye."

## 3. AT A BUS STATION

"The bus bound for Portland will leave at 5:00 P.M. Passengers please wait behind door number six."

こうした表現も文字情報だけでなく、音声表現を伴ってこそその表現である。このような音声表現を「英語表現」の授業に組み入れることは大切なことではないだろうか。

### 4.2 日英感覚の違いから起こる英語表現の味わいを楽しむ活動例

英語で "It's raining cats and dogs." という表現がある。この表現に初めて出くわすと、一体これは何であろうかと思うことであろう。英語には、英語特有の生きた表現がある。このようなネイティブ表現を知ることこそ表現活動のおもしろさであるが、英語という言葉や表現を持つ言語文化を知ることの方がもっと興味深いものになる。日本語は高文脈文化の言語で、英語は低文脈文化の言語であると言われる。英語は語順という構造で意図する文を作りあげる。日本語は助詞を使って語順に頓着することはない文を作る。したがって、日本語をもとに英文を考えることは理にかなっていない。それでも教科書からは和文英訳的な練習問題が一向に姿を消すことはない。

多くの「英語表現 I」の教科書が文法重視である。確かに文法学習は必要欠くべからざるものであると考える。文法学習に問題があるわけではなくその学び方に課題がある。文法穴埋め問題や和文英訳的な問題をこなすのではなく、unicornなどの教科書が扱っているレキシカル・グラマー、文法表現や英単語の使われ方を学ぶことにこそ意味がある。form と meaning だけでなく、その use (いつ使われるのか、なぜ使われるのか) を内在化させない限り、実際のコミュニケーションで英語を使うことはできない。

たとえば、英語では前置詞一つで大きく意味が変わる事が多い。

a. She prepared the exam.

b. She prepared for the exam.

a の she は先生になるが、b の she は生徒や学生になる。他動詞の持つ感覚と前置詞が付加された動詞表現も図 4 のように生徒に説明するなど、その根本的な「なぜ」を納得させる指導が必要である。論理的な表現思考の英語は、文と文とがどのようにつながっているのかを重視する。そのため、transition は重要なマーカーになる。そうしたことも連動するように学ばせることが大切であると考えられる。

- ・ I don't like oranges ( ) I like apples.
- ・ I'm sleepy ( ) I stayed up late last night.
- ・ I like sashimi ( ) I don't like sushi.
- ・ He often helps his friends ( ) he is kind.
- ・ I don't eat octopus ( ) he eats it.
- ・ It's hot today ( ) I want iced tea.
- ・ Winter is cold ( ) summer is hot.
- ・ Angela is good at math ( ) very good at Japanese.
- ・ Baseball is exciting ( ) soccer is exciting, too.
- ・ You love music ( ) I love it, too.
- ・ I was hungry ( ) I ate a big cake.

### 4.3 自己表現を楽しむ創作英語表現活動例

伝えてみたいと思うことを表現させる活動例やその工夫例を挙げてみる。

#### ①その後を想像して自由英語記述させる

例 O・ヘンリー「賢者の贈り物」…ten years later

They worked hard every day. Jim got a new job. Della continued her job. Ten years have passed since they exchanged their first Christmas present. It's December 8th. Jim and Della thought what they would give to each other as a Christmas present. Jim went to a store in the town and bought a nice present. Della didn't buy anything.

A group: What did Jim buy?

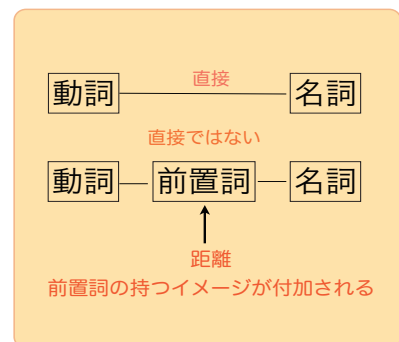


図4 動詞+前置詞のイメージ

B group: What did Della do?

A group 創作例

It was snowing on that day. He was walking around the town. He saw a beautiful flower shop. Then he heard a Christmas song from a record-disk shop. It was "White Christmas. He liked the song.

Some warm feeling came up in his heart. He remembered the day ten years before. He took out of his pocket his gold watch with a gold chain Della gave him on the day. He felt strongly, "I love you, Della."

He didn't want to buy a very expensive thing. He thought a small present was OK. He wanted to buy a small but good present that would show his love to Della.

He went into the record shop. He saw a lot of Christmas-song CDs at one corner. But he went to another corner. He found a CD he wanted to give to Della.

December 8th was the day he couldn't forget. Some years ago John Lennon was killed on the same date.

He bought John Lennon's CD. He liked the song, 'Woman'. He liked the words of the song. He thought Della would like it, too

### ②詩の英訳活動例…工藤直子『のはらうた』

和文英訳を行うとするなら、機能的な文でなく、心に迫るような和文や日本語の微妙な表現を英語ではどう表すのかを考えさせてみてはどうか。

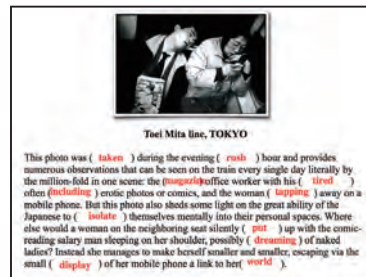


資料4 工藤直子「のはらうた」英訳活動シート

工藤直子さんの『のはらうた』に非常にわかりやすい内容で心に沁みる詩が多い。こうした表現を英語でどう表現すればいいのか考えさせてみる活動は、生徒の表現意欲を高めると考える。「ころ」というカラスの切ない気持ちを表現する英語の表現を考えたり、「うんと」「とにかく」「すごく」「とても」「じつに」などの副詞語句を状況に応じた表現として考えさせたりする活動は、生徒の好奇心をくすぐるのではないだろうか

### ③ Photo caption (Photographs with messages)

フォト・キャプションは、写真に英語の説明などを加える活動である。印象的な写真を扱うことにより生徒の表現意欲を高めることが肝要である。また、日常、気の利いた英語表現を生徒に提示したりしておくことが望ましいと思われる。



資料5 Phot Caption 例

1 行から 2 行程度の英文を創作させたり、あらかじめ与えられた英文の空所に写真を見て適当な語句を埋めさせたりするなどのバリエーションが考えられる。

### ④英文しおりカード作成活動例

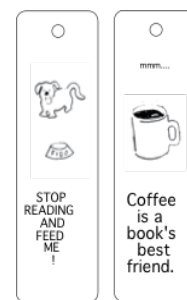
生徒向けガイドライン例

1. Decide who you want to give the bookmark you make.



2. Draw pictures of your ideas.
3. Think about a message you really want to send.
4. Picture in your mind what sentences are the most effective.
5. Write sentences and make an original bookmark.

気の利いたメッセージを書かせたしおりを回収し、他の生徒に配付することをあらかじめ伝え、自分の成果物がクラスメートに実際に使われることを意識させることで、生徒は一層丁寧な創作活動を行う。季節に応じた挿絵をあらかじめ挿入したカードを配付してその季節に応じたメッセージを創作させることもできる。このような短い英文には英語表現特有の簡潔さと明確さがある。そうした日英表現の違いを学ばせることも大切な要素である。



資料 6 創作しおり

### ⑤Tシャツデザイン・ポスター作成活動例

英文しおりと同様に、Tシャツのデザインや校内に掲示する inspiring message のポスターを作成させることもできる。ポスターは実際に図書室や掲示板に掲示して活用することで生徒に達成感を与えることができる。



資料6 Tシャツデザイン例（授業デザインスキルアップ演習参加教員体験作品）



資料 8 ポスター作品例

## 5. まとめ

学習指導要領では論理的な展開をする表現方法を身につけることを求めているが、3.1のアンケートから得た結果に見られるように、教員は「自己表現活動（スピーキング・ライティング）の活動を取り入れている」「英語表現の特徴、おもしろさを学ばせている」「日英表現の違いを学ばせている」活動を「英語表現」の授業に取り入れたいと考えている。論理的な表現は、コミュニケーション・ルールとして必要なスキルであるが、コミュニケーションそのものではない。まず核となるメッセージを表現する喜びに焦点を当てた活動を取り入れる必要があるのではないだろうか。もちろん、正確な理解を促すドリル的な練習も必要であるが、「英語表現 I」でこそ表現の喜びがある教材を用いて、知的な好奇心を引き出すとともに表現意欲を培う活動を行うことが望ましいのではないかと考える。

ただ、正解を求めない創作活動を展開するに当たって課題とされることは、学習のプロセスとパフォーマンスをどのように評価するかである。従来の正誤問題による○×で評価ではないので、評価のルーブリックが必要となる。論理的展開を評価するライティングなどの表現活動であるなら、「理由挙げて説明している」「例を挙げて説明している」「教材の記述を下に説明している」「資料を使って図示など視覚的に説明している」「たとえなどを使ってイメージ化を図って説明している」「表やグラフを用いて説明している」「時間軸を使って流れに沿って説明している」「一般的な考えと比較して説明している」など how という思考方法の観点の適性と有効性などを評価することができるが、創作的な課題の場合は感性で判断することもありえる。「おもしろい内容であった」という主観的な判断も時には生徒にとって納得できるものになることもある。ただ、創作活動のようなパフォーマンスを評価するには、

- ・ 創作活動のタスクやプロジェクトの目標・ねらいが明確であること
- ・ 目標やねらいに応じた評価指標やチェックリストを指導者と学習者が共有していること
- ・ 目標やねらいを達成する学習・創作活動を、流れを持って展開すること
- ・ 問いかけを行ったりしてフィードバックしながら、創作活動の目標達成の改善を図ること

が必要であろう。創作活動の評価に真正性、公平性などが担保できないので、そうした活動は控えるべきであるということには、

表現という科目の真のねらいは充足されないであろう。「理解する」のレベルから「使える」レベルに移行している創作作品をポートフォリオとして経過的な表現の豊かさ、質的特徴を評価する判断指針の基準表を作成することに力を注ぐべきであると考え。

#### 引用・参考文献

Alan Maley & Alan Duff(1987). *Drama Techniques in Language Learning* Cambridge  
Carolyn Graham(2003). *Small Talk: More Jazz Chants* [Audiobook] [Cd]Oxford Univ Pr (Sd); New Ed 版  
Charlyn Wessels(1987). *Drama*, Oxford Univ. Press, 1987  
Dale T. Griffiee(1992). *Songs in Action*, PrenticeHall International English Language Teaching,  
David Cross(1997). *Large Classes in Action*, PrenticeHall International English Language Teaching Publishers,  
Johnson, Schalekamp. Garrison(1956). *Communication* McGraw-hill Book Company,  
Patricia A. Richard-Amato(1988). *Making It Happen*, Longman,  
Rudolph F. Verderber(1994). *Speech*, Holt, Rinhart and Winston,  
Sharron Bassano & Mary Ann Christison (1995). *Community Spirit*, Alta Book Center

池田紅玉 (2005) 『すばらしい英語朗読・音読の世界』教育出版  
土屋澄男 (2004) 『英語コミュニケーションの基礎を作る音読指導』研究社  
Nomura,Y.(1983) *Pinch & Ouch* Lingual House  
阿部圭子 (2010) 「日本語と英語、説得に向いている言語はどちらか」『英語教育 9月号』大修館書店  
板場良久、池田理知子 (2011) 『よくわかるコミュニケーション学』(やわらかアカデミズム・わかるシリーズ)、ミネルヴェア書房、  
伊藤笏康 (2011) 『言葉と発想』(放送大学教材)放送大学教育振興会  
大田雄三 (1995) 『英語と日本人』講談社学術文庫  
黒木登志夫 (2011) 『知的文章とプレゼンテーション—日本語の場合、英語の場合』(中公新書)  
斎藤兆史 (2001) 『英語の味わい方』日本放送出版協会  
田中武夫・田中知聡 (2003) 『「自己表現活動」を取り入れた 英語授業』大修館書店  
外山滋比古 (1992) 『英語の発想・日本語の発想』日本放送出版協会  
長部三郎 (2001) 『伝わる英語表現法』岩波新書  
マイケル・バートン (2013) 『生きた英語表現を楽しく学ぶ絵辞典』東京書籍  
八代京子他 (2005) 『異文化コミュニケーション・ワークブック』三修社

*Vision Quest English Expression I Standard* 啓林館

*Crown English Expression I* 三省堂

*Unicorn English Expression I* 文英堂

*Polestar English Expression I* 数研出版

*Perspective English Expression I* 第一学習社

*Departure English Expression I* 大修館

*One World English Expression I* 教育出版

*New Favorite English Expression I* 東京書籍

『三省堂高校英語教育』2013年夏号.三省堂

東京都 (2012) 「平成 25 年度使用 都立高等学校及び中等教育学校 (後期課程) 用教科書 教科別採択結果 (教科書別学校数)」教育庁指導部 <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr120823b/betten.pdf>

文部科学省 (2009) 『高等学校学習指導要領』 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/kou/kou.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/kou/kou.pdf)

文部科学省 (2010) 『高等学校学習指導要領解説外国語編・英語編』開隆堂